

議案第1号

令和5年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会 事業報告について

社会福祉法人愛川町社会福祉協議会定款第39条第2項の規定により、令和5年度事業報告について評議員会の承認を求める。

令和6年5月31日提出

社会福祉法人愛川町社会福祉協議会
会 長 石 井 康 弘

本協議会は、住民参加による福祉活動の中核として、関係行政機関、地域住民等と協力のうえ、民間社会福祉団体としての特質を生かしつつ、『住民総参加によるふれあいのまちづくり』を目標に、概ね次のような事業を行った。

事業の概要

地域福祉・在宅福祉の総合化に向けて

1. 福祉問題・福祉動向等の把握に向けて

(1) 福祉総合相談の実施

福祉に関する総合相談に対応した。

◆相談件数（対象者別）

（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高 齢	16	12	15	16	17	18	22	12	12	10	12	10	172
障 が い	4	8	4	2	3	3	4	3	4	3	5	1	44
傷 病	2	0	3	3	5	0	4	2	1	0	1	1	22
子 育 て	1	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	1	7
ひ と り 親	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
低 所 得	8	11	5	7	13	6	10	5	4	10	14	3	96
一 般	8	13	13	13	16	8	9	5	8	2	15	4	114
合 計	39	44	42	41	54	35	53	28	30	26	47	20	459

◆相談件数（内容別）

（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護保険制度	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
障がい福祉制度	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
福祉サービス・事業	11	19	13	8	24	12	20	8	16	13	22	8	174
ボランティア	8	9	5	11	5	12	14	8	2	3	7	1	85
寄 附	1	2	3	1	4	2	1	0	4	0	2	1	21
権 利 擁 護	1	1	1	3	1	0	2	0	1	3	3	4	20
福 祉 機 器	4	1	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	11
貸 付	8	2	8	7	5	2	3	3	2	4	12	5	61
苦 情	2	0	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	8
そ の 他	4	7	7	8	10	5	8	7	2	3	1	1	63
合 計	39	41	41	40	51	35	50	28	29	26	47	20	447

・権利擁護相談事業の実施

成年後見制度や遺言の活用、高齢者を狙った消費者被害等に対する専門的なアドバイスを目的に相談会を開催した。

成年後見 16 件 相続 3 件 遺言 3 件 財産管理 1 件

(2) 福祉情報の集約化

- ・関連行政機関及び関連団体との連携、協力体制の推進
各種委員会へ委員を派遣した。

○愛川町シルバー人材センター理事会

○愛川町男女共同参画基本計画推進委員会

○愛川町介護保険・地域包括支援センター運営審議会

○愛川町福祉のまちづくり推進委員会

(3) 各種計画の推進

- ・第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画および第6次社協活動計画の進行管理
愛川町との協働体制により、町福祉支援課等との合同事務局による地域福祉計画・地域福祉活動計画の一体的な進行管理を行い、理事会において社協活動計画の進行管理を行った。

○第1回愛川町福祉のまちづくり推進委員会

期 日 11月27日

場 所 町役場2階会議室

内 容 計画の進捗状況について等

○計画関連調整会議（理事会）

期 日 7月7日

場 所 町福祉センター

2. 福祉の理解と活動の周知に向けて

(1) 広報・情報提供活動

- ・社会福祉協議会事業の紹介及び福祉意識の高揚を図るため、広報紙を発行した。

○社協あいかわ（第 132 号、133 号） 年 2 回発行

○社協あいかわお知らせ版（No.116～No.118） 年 3 回発行

- ・情報化推進事業

社協ホームページを随時更新した。

- ・障がい者・高齢者 I C T 教室（初めてのスマホ体験教室）

シニア世代でもスマートフォンを活用し、インターネットを通じて、誰でも身近に様々な情報が入手できる利便性を実感している方が増えている一方で、操作に不安があることで活用できていない方も多いスマートフォンについて、気軽に相談でき、さらなる活用をしていただけることを目的に使い方教室を開催した。

なお、年 1 回の実施予定であったが、キャンセル待ちが出るほど好評であったため、追加で 2 回目を実施した。

第 1 回 期 日 6 月 23 日

場 所 町福祉センター

講 師 ソフトバンク株式会社

参加者 20 名

第 2 回 期 日 11 月 10 日

場 所 町福祉センター

講 師 ソフトバンク株式会社

参加者 19 名

(2) 地域福祉推進・啓発活動

- ・福祉の月の設定

だれもが住みよい福祉社会を実現するため、福祉の月を設定し、啓発活動を行った。（主唱 愛川町・社協）

○愛川町社会福祉大会 10 月 28 日 町文化会館ホール

◆社会福祉協議会会長表彰（敬称略）

〔福祉功労表彰〕

古座野雅夫 小島美鶴 齋藤誠 小林利彦 中根優太 伊藤晴香 齊藤純一
大矢和真 平井雅樹 伊藤綾 今井沙友里 久保田俊司 小泉道子 小林義
昭 篠崎とみ代 河内晴子 日本ゴルフ場企画(株)相模野カントリー倶楽部
社団法人神奈川県信用組合協会・株式会社オリエントコーポレーション・相
愛信用組合

〔善行者表彰〕

渡邊迪江 藤本誓子 笹原虎夫 梅澤明子 蘆田世津子 愛甲商工会 日本
発条労働組合厚木支部 三菱ふそう労働組合本社支部

・あいかわ福祉のひろば事業

わいわいスペース 10月22日 福祉センターホール、前庭

わいわいスペース実行委員会（ボラ連主管）を設け、内容を検討し、ボランティアグループの紹介、イベント、模擬店コーナーなどを開催した。

・福祉講演会

町民の福祉意識の高揚を図るため、福祉講演会を開催した。

期 日 2月10日

場 所 町文化会館

講 師 レギュラー（お笑いコンビ）

演 題 レギュラーの知っておきたい介護の話！

参加者 150名

・ふれあい広場

町民一人ひとりが「ともに生きる仲間である」との認識を深め、みんながぬくもりと生きがいを見いだせる福祉のまちづくりをめざして、交流の広場を開催した。

第1回実行委員会 期 日 6月21日

第2回実行委員会 期 日 7月25日

期 日 9月9日 場 所 田代運動公園 参加者 367名

・“愛川の底力”住民委員会の設置

地域住民相互による支えあい活動のネットワーク化を図り、地域住民自身が主体となった活動の仕組みを作ることを目的に組織化し、地域福祉についての協議の場として設置。

第1回“愛川の底力”住民委員会

期 日 7月20日

内 容 住民の困りごと、情報交換、ボランティア活動について等

第2回“愛川の底力”住民委員会

期 日 12月8日

内 容 買い物、送迎について等

(3)福祉教育推進・支援事業

・出前講座や「やさしさを育む教室」の実施

○県立愛川高等学校1年生 認知症サポーター養成講座

○愛川町役場職員 認知症サポーター養成講座

○半原田代地区民生委員児童委員研修会

地域包括支援センターの役割について

○福寿草の会 日常生活支援総合事業について

○愛川町立愛川中原中学校 1 年生 認知症サポーター養成講座

○総合的学習等への協力

菅原小学校	(手話体験指導)	1 学年、2 学年	11 月 20 日
〃	(福祉教育教材貸出)	5 学年	
中津小学校	(手話体験指導)	4 学年	11 月 14 日
〃	(車椅子体験指導)	4 学年	12 月 7 日
愛川東中学校	(手話体験指導)	2 学年	12 月 5 日
中津第二小学校	(手話体験指導)	1 学年、2 学年	1 月 26 日
		3 学年	2 月 1 日

・福祉教育活動助成事業

学校教育の一環として福祉への理解と関心を高める福祉教育活動に対し助成を行った。

○小学校 6 校、中学校 3 校、高等学校 1 校に助成

・職場体験学習への協力

11 月 9 日～10 日 愛川町ありんこ中津作業所 愛川東中学校から 2 名

・福祉教育連絡協議会の開催

期 日 8 月 18 日(金) 場 所 町福祉センター

町内小中高校 10 校、教育委員会指導室、福祉支援課、ボランティア

出席者 19 名

(4) 研修事業

・福祉職従事者研修会事業の開催

町内の施設や N P O、サービス提供事業所などの職員等を対象に、福祉関係者の資質向上及び連携強化を図ることを目的に開催した。

期 日 2 月 29 日

場 所 町福祉センター

講 師 社会福祉法人みずき福祉会 理事長 阿部 美樹雄 氏

内 容 「人との関わりで生じる“怒り”の感情コントロール方法を学ぶ」

参加者 31 名

(5) 能登半島地震における対応

石川県能登半島地方の深さ 15 キロを震源とするマグニチュード 7.6、最大震度 7 を観測する巨大地震により、北陸地方で甚大な被害が発生したことに伴い、全国社会福祉協議会、神奈川県社会福祉協議会、被災地の災害ボランティアセンター

等の災害支援情報の提供を行うとともに、義援金の受付及び救援物資の受付を行った。

また、関東ブロック協定により全国社会福祉協議会及び関東ブロック B 幹事県（静岡県）からの要請により、本協議会職員 1 名を被災地へ派遣し、災害ボランティアセンター運営支援を行った。

派遣先：石川県中能登町社会福祉協議会（中能登町災害ボランティアセンター）

派遣期間：2 月 28 日（水）～3 月 5 日（火） 7 日間

(6) その他

古切手等の収集活動

福祉図書資料の提供

ビデオライブラリー貸し出し事業

3. 関係機関・団体・施設等との連携に向けて

(1) 連携団体

- ・各種団体等会議への出席及び関連機関との協力

民生委員児童委員並びに福祉団体等との連携を深めるため、各種会議に出席し情報把握に努めた。

また、地方公共団体等と常に連絡を密にし、民間団体としての特性を生かしつつ、その実施する福祉施策に協力した。

- ・福祉団体合同新年賀詞交歓会 1 月 13 日 町文化会館

〔参加団体・順不同〕

身体障害者福祉協会 保護司会 更生保護女性会 手をつなぐ育成会
母子福祉会 老人クラブ連合会 遺族会 ボランティア連絡協議会
民生委員児童委員協議会 シルバー人材センター 特別養護老人ホーム
志田山ホーム 特別養護老人ホームミノワホーム 特別養護老人ホーム
愛和の里 介護老人保健施設せせらぎ あいかわ工房 愛川町精神保健
福祉研究会 このわ 児童養護施設手まり学園 地域生活支援の会あ
い 国際ソロプチミスト愛川 愛甲商工会

- ・共同募金運動の推進

共同募金会団体事務並びに共同募金運動の推進に努めた。

○10 月 1 日～31 日 赤い羽根募金 募金額 3,036,137 円

○12 月 1 日～31 日 年末助け合い募金 募金額 2,924,235 円

- ・町民活動サポートセンターとの連携

町民活動サポートセンターとボランティアセンターとで連絡・協調を図った。

(2) 助成事業

- ・地域福祉ふれあい助成事業（行政区）

各行政区での福祉活動を促進するため、福祉活動事業費の助成を行った。

- ・福祉団体等助成事業

福祉団体、老人クラブ連合会、高齢者サロン等の福祉活動を促進するため活動費の助成を行った。

13 団体

4. 活動の担い手の開拓・組織化に向けて

(1) ボランティアの開拓と組織化（ボランティア育成）

- ・ボランティアサマースクール

期 日 8 月 16 日

場 所 町福祉センター

講 師 あいかわ福祉教育サポータークラブ 岩佐 正之 氏

参加者 2 名

- ・シニアボランティア養成講座

定年退職後、空いた時間に何かしてみたい、地域社会の一員として役割を見出したい方などを対象に、ボランティア活動についての情報・知岸を提供する機会を設けるために講座を開催した。

期 日 10 月 13 日

場 所 町福祉センター

講 師 牧岡 英夫 氏（共育ひろば主宰）

参加者 15 名

- ・ボランティア等グループスキルアップ講座

ボランティア活動をしている町民を対象に、日頃の活動を振り返るきっかけ、知識を増やして活動に活かしていく機会としてスキルアップ講座を開催する。

期 日 11 月 17 日

場 所 町福祉センター

講 師 牧岡 英夫 氏（共育ひろば主宰）

参加者 31 名

- ・災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害発生後、復興に向けて参集したボランティアの調整をする『災害ボランティアセンター』の設置、運営には、地域の力が必要不可欠なため、調整、運営等の役割を担う災害ボランティアコーディネーターの育成を図ることを目的

に講座を開催した。

期 日 1 月 27 日
場 所 町農村環境改善センター
参加者 65 名

・ボランティアのつどい

ボランティア利用者やボランティアが、地域にとってより有効的な活動を展開するための学習の場として開催した。

第 1 部として、共育ひろば主宰 牧岡英夫氏を講師に招き、「ボランティアでひろがる 地域づくり・仲間づくり」をテーマにワールドカフェ方式を用いてグループワークを実施した。また第 2 部では町内障がい者施設による展示即売会を行った。

期 日 2 月 10 日
場 所 町福祉センター
参加者 72 名

(2) ボランティア活動等への援助

・ボランティアグループ等への助成

ボランティア活動、当事者等団体の活動に協力、助成を行った。

ボランティア団体等 7 団体

愛川町食生活改善推進団体味彩会 愛川レクリエーションクラブ

マジック愛川クラブ 愛川町点訳友の会 あシボ

傾聴ボランティアなごみ あいかわ町災害ボランティアネットワーク

・ボランティア連絡協議会への協力

ボランティア連絡協議会の活動・事業等に対し、協力・助成を行った。

(3) 災害ボランティアセンター

・災害ボランティアセンター設置運営訓練

災害ボランティアコーディネーター養成講座の一環として、災害ボランティアセンターの立ち上げ、運営の方法等について、より実践的な訓練を行うとともに、あわせて災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの検証を行った。

・災害ボランティア交通費助成事業

0 件

・災害復興支援事業

災害ボランティアセンター等の災害支援情報の提供を行うとともに、継続する各種義援金等の案内・受付を行った。

- ・災害備蓄品の整備

災害に備えるため 100 名程度 1 日分の災害備蓄品の整備を行った。（飲料水、主食、副菜等）

(4) その他

- ・ボランティア情報紙の発行
- ・ボランティアグループ（かえでの会）との協働事業
録音テープ作成

「広報あいかわ」「社協あいかわ」「議会だより」等の定期刊行物について延べ 50 種類作成した。

- ・地域福祉活動、募金活動等の行事に行政区役員の協力を得た。
- ・ボランティア登録及び相談活動を実施した。

ボランティア登録者数 個人 7 名、団体 11 団体

- ・神奈川県社会福祉協議会会長感謝（敬称略）

〔ボランティア功労者〕 荻田桂子 加藤秀子

〔保護司・永年勤続功労者〕 中村祥子

- ・神奈川県社会福祉協議会会長表彰（敬称略）

〔ボランティア功労団体〕 あいかわ町災害ボランティアネットワーク

〔社会福祉事業功労者〕 井上晴香 田中智子

- ・メールボックスの設置

福祉センター 1 階ロビーにボランティアグループ等の連絡用ボックスを設置し、活動の利便を図った。

- ・福祉体験機器の貸し出し

福祉教育やボランティア活動などで活用していただくため、車椅子、盲人用白杖、アイマスクなどを整備し貸し出しを行った。

5. 援護サービス活動の充実に向けて

(1) 心身障がい者福祉

- ・肢体不自由児日常介助物品支給事業

体幹等に著しい障がいをもつ、常時介護者の介護を必要とする 18 歳未満の肢体不自由児に対し、障がい児福祉の増進を図ることを目的に、日常介助物品購入費を支給した。

支給者数 4 件

支給物品 紙おむつ等

- ・ふれあいショップ希望運営における共生社会実現の取り組み

障がい者に対する就労訓練の場を提供し、地域社会の一員であることを発信することにより「ともに生きる社会」の実現を推進するため、福祉センター 1 階で売店「ふれあいショップ希望」を運営した。

・重度心身障害者等移送サービス事業（受託事業）

障がい者の積極的な社会参加を促進するため、通院等の移送援助を行った。

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
利 用 者		17	20	15	18	11	13	22	16	13	12	10	11	178
介 護 者		13	15	9	12	8	9	18	11	11	10	8	10	134
利 用 目 的	入 通 院 等	17	17	13	18	11	13	21	16	13	12	10	10	171
	施設等入退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手 続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	行 事 ・ 会 議	0	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		送迎				迎車				待機				
回 数		178 回				2 回				135 回				
距 離 ・ 時 間		1,966 km				24 km				216.5 時間				
障がい等利用区分（重複含む）														
		身障			要介護			要支援			その他			
延べ利用者数		76			168			0			0			
利用種別区分														
		車椅子			寝台			その他			合計			
延べ利用者数		178			0			0			178			

・障がい児サロン事業

特別支援学校等に通う小中学生の児童生徒を対象に、夏休み・春休み期間中の在宅生活における介護者の負担軽減、当事者同士の仲間づくりを目的に開催した。

【夏休み】

- ・期間 7月25日から8月31日までの夏休み期間
(毎週火、木曜日 全11日間)
- ・場所 福祉センター3階会議室
- ・参加利用者数 5名 【内訳】小学生3名 中学生2名
延べ利用者数 31名
- ・従事スタッフ スタッフ4名(延べ21名)
ボランティア5名(延べ17名)

【春休み】

- ・期間 3月26日から4月4日までの春休み期間
(毎週火、木曜日 全4日間)
- ・場所 福祉センター3階会議室
- ・参加利用者数 4名 【内訳】小学生2名 中学生2名
延べ利用者数 12名
- ・従事スタッフ スタッフ3名(延べ8名)

ボランティア 4 名（延べ 6 名）

(2) 高齢者福祉

- ・福祉機器貸与事業（特殊ベッド、車いす等）

介護に必要な福祉機器を貸与し、本人や介護者の利便を図った。

◆福祉機器貸与件数

（単位：件）

品 名			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
申 請	特殊 ベッド		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	エアーマット		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 椅 子	新規	12	4	2	3	2	3	8	4	2	1	1	2	44
		継続	2	3	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	10
	そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
返 却	特殊 ベッド		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	エアーマット		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	車 椅 子		7	7	6	5	2	2	7	4	4	3	0	0	47
	そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ・理髪サービス事業

衛生上理髪する必要がある寝たきり高齢者等に対し、町内理髪店の協力を得て自宅に出張し、理髪サービス事業を実施した。

理髪サービス実施件数 5 件

- ・虚弱高齢者等ミニデイサービス事業(受託事業)

在宅の虚弱な高齢者等に対し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身の維持向上等を図り、その家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的にデイサービス事業を実施した。

実施場所：半原老人福祉センター（毎週水曜日）

高峰老人福祉センター（毎週金曜日）

◆実施回数

（単位：回）

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
実施回数	8	7	9	8	8	9	8	8	8	8	7	8	96 回

◆月別利用者数

(単位:人)

利 用 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢・虚弱な者	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
認知症及び 認知症傾向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746

◆ミニデイサービス従事者数

(単位:人)

従 事 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看 護 師	8	7	9	8	8	9	8	8	8	8	7	8	96
介 助 員	40	35	45	40	40	45	40	40	40	40	35	40	480
ボ ラ ン テ ィ ア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運 転 手	12	13	15	11	12	15	15	14	13	16	12	12	160
社 協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	60	55	69	59	60	69	63	62	61	64	54	60	736

◆サービス別利用者数

(単位:人)

サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生 活 指 導	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
日 常 動 作 訓 練	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
レクリエーション	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
健 康 チ ェ ッ ク	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
給 食	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
送 迎	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
介護予防サービス	61	50	76	60	50	62	58	55	65	78	56	75	746
そ の 他	11	4	0	14	0	0	20	27	29	20	18	11	154

・ひとり暮らし高齢者等訪問給食サービス事業（受託事業）

虚弱なひとり暮らし高齢者等に対し、健康管理、孤独感の解消、安否の確認などを目的に、週3回の訪問給食サービスを行った。

◆配食回数（毎週月・水・金曜日）

(単位:回)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
配食回数	12	12	13	13	13	13	13	13	12	12	12	13	56週 151回

◆月別配食数

(単位:食)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	対象 (人)
ひとり暮らし高齢者	461	454	502	510	520	566	542	515	481	451	434	525	5,961	79
高齢者世帯	107	112	145	143	161	154	218	219	212	196	183	146	1,996	22
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	12	12	13	12	13	10	12	11	9	12	12	13	141	2
小 計	580	578	660	665	694	730	772	745	702	659	629	684	8,098	103
検 食	12	12	13	13	13	13	13	12	12	12	13	151	-	
	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	5	-	
合 計	592	590	674	680	708	743	785	759	714	671	641	697	8,254	103

◆配食従事者数

(単位:人)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	登録者
配食協力員	65	70	80	75	72	83	88	91	89	78	85	78	954	13
社 協 対 応	10	4	2	7	10	9	10	11	5	15	8	21	112	-
合 計	75	74	82	82	82	92	98	102	94	93	93	99	1,066	13

・福祉機器の紹介

福祉用具専門相談員の資格を取得した職員が福祉機器の紹介を行った。

・高齢者サロン活動支援事業

町内において地域住民により自発的に発足した高齢者サロン 9 団体の連携を図ることを目的に連絡会を開催した。

期 日 8 月 28 日

場 所 町福祉センター

・介護保険事業への協力・支援（ケアプラン自己作成支援事業など）

介護者等の支援を目的にケアプランの自己作成方法等の助言を行った。

ケアプラン自己作成支援件数 22 件

・いきいき生活応援事業（エンディングノートの配布と普及など）

これまでの自分の人生を振り返り、今後の生き方や暮らし方を考えるきっかけとなるよう、エンディングノートの配布を行った。

わたしのこれからノート 配布冊数 108 冊

「よりよく生きる生活講座「わたしのこれからノート」活用法」の実施

期 日 2月27日
場 所 町福祉センター
参加者 18名

・あたまの体操教室の開催

6ヶ月間にわたり専用教材を使用し、認知症の予防に取り組む教室を開催した。

期 間 令和5年9月から令和6年2月までの6ヶ月間
学習者 7名

・高齢者・障がい者暮らしサポート事業（ひとり暮らし高齢者安否確認事業）

在宅のひとり暮らし高齢者に対し、安否の確認、健康状態及び生活状況を確認するとともに孤独感の解消を図り、高齢者福祉の向上を図ることを目的に定期的な電話掛けを行った。

利用登録者数 2名

・高齢者買い物支援事業

加齢による体力の衰え等により買い物が困難になった住民に対し、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるよう、買い物への移動支援サービスを提供する「高齢者買い物支援事業」を実施した。

年間実施回数 12回（月1回実施）
登録者数 2名
延べ利用者数 20名
ボランティア 3名
延べ協力者数 12名

・住民参加型送迎サービス運転協力会員養成講座

住民参加型送迎サービス（愛川お助け便）の担い手である運転協力会員の不足や高齢化等の課題に対し、新たな運転協力会員の確保を目指し、養成講座を開催するため調整を行ったが、受講者が2名であったため、講師からの提案で講師が他地域で開催している講座を受講いただいた。

期 日 10月21日、11月26日
場 所 町外（大和市、寒川町）
講 師 NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
参加者 2名

- ・住民参加型送迎サービス事業（愛川お助け便）

高齢等により、移動が困難な方の積極的な社会参加を促進するため、行事への参加、病院への通院等の移送援助（セダン型車両）を運転協力会員と共に行った。

運転協力会員登録 6名 延べ活動回数 277回

◆送迎サービス件数

（単位：人）

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
利 用 者		14	19	14	18	12	15	18	19	19	15	13	16	192
介 護 者		8	11	9	11	9	11	11	16	12	13	2	12	125
利 用 目 的	入通院・入通所	12	19	17	26	19	18	23	25	23	19	13	19	233
	買 い 物	0	1	1	1	1	0	1	2	3	2	3	2	17
	各 種 手 続 き	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	そ の 他	3	5	2	1	0	3	4	1	1	1	0	1	22
		送迎					迎車				待機			
回 数		275 回					10 回				162 回			
距 離 ・ 時 間		2,355km					83km				267.5 時間			
障がい等利用区分（重複含む）														
		身障			要介護			要支援			その他			合計
利 用 者 数		126			129			102			1			358

(3) 児童・母子福祉

- ・交通遺児世帯援護金支給事業

交通遺児世帯を激励するため、激励金を支給した。 激励金 1件

- ・母子福祉会事業への協力

(4) 要援護者・要援護世帯等福祉

- ・被保護世帯入学卒業祝品支給事業

生活保護世帯の児童・生徒に対し、勉学の奨励を行うため、図書カードの支給を行った。

小学校入学 5件 中学校入学 4件 中学校卒業 10件

- ・行路人援護事業

支給件数 1件

- ・緊急援護資金貸付事業

貸付件数 8件 貸付総額 180,000円

- ・生活福祉資金貸付事業

貸付件数 0件

- ・生活福祉資金貸付事業（特例貸付）フォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金貸付制度（コロナ特例貸付）を利用された方へのフォローアップ支援（償還猶予相談等）を実施した。

- ・年末激励金支給事業

在宅福祉の一環として低所得世帯、身体障がい者等に年末激励金を支給した。

〔激励金支給者〕

一人暮らし高齢者(85歳以上) 176 人 身体障がい児者(1級) 316 人

知的障がい児者(A1・A2) 69 人 精神障がい児者(1級) 27 人

要援護世帯 7 世帯 福祉団体等 11 団体

支給総額 2,881,629 円

- ・災害見舞金支給事業

- ・フードバンクあいかわ運営事業

個人及び団体等から寄託された食品等を生活困窮世帯等へ提供し、生活再建に向けた自立支援及び地域住民の福祉向上に資することを目的に、フードバンク事業を実施した。

寄付者	一般	18 件	受領者	45 件
	企業	11 件		

- ・小学校新1年生入学服衣類バンク事業

個人及び団体等から寄託された小学生の入学服を必要とする世帯等へ提供し、サステイナブル（持続可能な）ファッションへの取り組みとして、地域住民の福祉向上に資すること目的に、衣類バンク事業を実施した。

受領者 3 件

6. 愛川あんしんセンターの運営

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等を対象に、生活支援員による福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うとともに、専門員による権利擁護に関する各種相談援助を行った。

◆日常生活自立支援事業相談件数

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認知症高齢者等	8	16	19	40	17	26	27	30	20	29	27	33	292
知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
精神障がい者	13	15	12	21	17	8	27	4	0	0	0	0	117
身体障がい者	25	38	47	56	48	43	36	43	25	26	34	37	458
その他・不明	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	4
合 計	46	69	78	118	82	77	92	77	45	55	61	74	874
契 約 者 数	4	4	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	73
生 活 支 援 員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36

(2) 法人後見事業

判断能力の不十分な高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の権利擁護を図るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等、身上監護を中心とした日常生活の支援を行うため、法人後見業務を行った。

◆法人後見事業受任者数 後見類型・・後 保佐類型・・保 補助類型・・補 (単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受任者数	認知症高齢者等	後3	後3	後3	後3	後3	後3	後3	後3	後3	後3	後2	35
	知的障がい者	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	24
	精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	59

◆法人後見事業相談等件数

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認知症高齢者等	12	15	27	25	12	10	6	8	17	13	44	7	196
知的障がい者	3	3	6	5	4	7	2	4	6	4	4	4	52
精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他・不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	15	18	33	30	16	17	8	12	23	17	48	11	248

- ・法人後見事業審査会

法人後見事業の業務の公平性、専門性を確保し、事業の適正化を図ることを目的に「法人後見事業審査会」を開催した。

6月9日、9月14日、12月8日、3月8日

(3) 成年後見・権利擁護相談会の開催

成年後見制度や遺言の活用、高齢者を狙った消費者被害等に対する専門的なアドバイスを目的に相談会を開催した。

(再掲) 成年後見 16 件 相続 3 件 遺言 3 件 財産管理 1 件

(4) 中核機関による成年後見制度の普及啓発事業等の実施（受託事業）

成年後見制度の利用促進と円滑な制度運営が図られるよう、町内の支援体制構築を推進するための中核的な機関となる「愛川町権利擁護支援センター」の受託運営を行った。

- ・愛川町成年後見制度利用促進協議会

司法、医療、福祉等による地域連携体制を構築し、行政機関、関係機関等及び専門職と意見交換、協議を行う協議会を開催した。

期 日 12 月 8 日

- ・成年後見制度普及啓発講演会の開催

成年後見制度の普及啓発を目的とした講演会を開催した。

期 日 3 月 23 日

場 所 町福祉センター

講 師 生島 清身 氏（行政書士・社会人落語家）

テーマ 「落語で学ぶ成年後見制度」

参加者 46 名

(5) 権利擁護推進事業顧問弁護士の配置

日常生活自立支援事業、法人後見事業の支援に対する助言、相談への対応、及び今後、複雑・多様化した課題に対応するため、権利擁護推進事業の法律業務を行う弁護士を配置し、権利擁護の推進機能強化を図った。

顧問弁護士 1 名配置

7. 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活の継続ができるように総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメント等の事業を行った。

- (1) 高齢者情報の作成・管理共有化
- (2) 総合相談支援事業の実施
- (3) 権利擁護業務の実施
- (4) 包括的継続的ケアマネジメント業務
- (5) 介護予防ケアマネジメント業務

◆相談内容件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談事業	97	126	105	103	140	79	87	84	90	78	74	73	1,136
権利擁護事業	8	5	3	3	7	7	8	8	8	5	9	5	76
包括的・継続的ケアマネジメント事業	89	85	122	127	104	102	111	85	106	97	90	78	1,196
介護予防ケアマネジメント事業	291	296	322	325	314	263	292	262	278	267	239	280	3,429
計	485	512	552	558	565	451	498	439	482	447	412	436	5,837

◆予防給付ケアプラン作成件数（介護保険）

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括	要支援1	41	39	40	40	37	40	37	37	39	40	43	473
	要支援2	108	106	112	114	114	123	122	117	118	117	120	1,393
委託	要支援1	7	8	7	7	6	7	6	6	6	6	6	79
	要支援2	16	17	16	16	16	19	16	18	15	16	16	197
計	172	170	175	177	176	186	185	181	178	178	179	185	2,142

◆介護予防ケアマネジメント作成件数（総合事業）

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括	要支援1	22	23	23	24	23	24	25	29	24	28	25	294
	要支援2	42	39	41	39	42	45	49	45	46	50	48	532
	事業対象者	10	10	10	10	11	13	12	12	12	12	11	130
委託	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
	事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	75	73	75	74	77	83	87	87	83	90	84	78	966

(6) 地域におけるネットワーク構築業務

- ・地域ケア会議の開催

ケース検討を通して、実態把握・情報交換・考え方等について検討を行った。

第1回 4月19日、第2回 7月19日、第3回 10月18日、第4回 1月17日

- ・関係機関との連携強化を目的に各種会議へ出席した。

○愛川町民生委員児童委員協議会

○愛川町老人クラブ連合会

○愛川町介護保険・地域包括支援センター運営審議会（再掲）

- 愛川町高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定検討ワーキンググループ
- あいかわ介護支援専門員協会
- 地域包括連携会議
- 愛川町成年後見制度利用促進協議会
- 生活保護に係る社会福祉協議会および地域包括支援センターと保健福祉事務所の実務者連絡会
- 愛川町在宅医療・介護連携推進協議会
- 高齢者に対する生活支援サービスの体制整備に向けた協議体
- 厚木医療福祉連絡会ケアマネジャー部会役員会
- グループホーム運営推進会議（3 か所）

(7) 地域介護予防活動支援事業

介護予防全般の知識について広く普及啓発することを目的に、老人クラブを中心とした地域の高齢者を対象に講座を開催した。

開催回数 13 回（老人クラブ 11 団体、高齢者サロン 1 団体で開催）
 参加者 190 名
 場 所 町内の公民館、児童館等

(8) 職員の資質向上のため、研修会に出席した。

地域包括支援センター職員等養成研修(管理者) 8 月 22 日

法人後見担当者基礎研修 障害の理解 9 月 12 日

第 1 回多職種研修会 11 月 17 日

「看取りにおける現状と課題について」

厚木医療福祉連絡会ケアマネジャー部会研修会 12 月 13 日

「あるある事例から学ぶ 高齢者生活トラブルの対応・予防のポイント」

地域包括支援センター職員等養成研修(現任者研修総合編) 1 月 15 日

地域包括支援センター職員等養成研修(個別テーマ編) 1 月 23 日

「ケアマネジメントにおける地域を基盤としたソーシャルワーク実践」

介護支援専門員更新研修Ⅰ 2 月・3 月全 5 日

厚愛地区医療介護連携多職種研修会 2 月 18 日

「地震発生 その時まで私たちはどう動くか」

神奈川県介護支援専門員協会 地域連絡会議 3 月 18 日

(9) 認知症初期集中支援チームの運営

認知症の人又はその疑いのある人やその家族に、認知症の早期から関わる専門職からなる支援体制（支援チーム）を構築し、包括的観察、訪問等支援活動、必要に応じ専門医療機関・専門医と連携し、適切な医療サービスや介護サービスによる安定的なサービスへの移行支援をする事業を行った。

◆チーム員相談件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家庭訪問 (初回)	2	1		1			1	1	2		2		10
家庭訪問 (継続)	1	3	1		8	2	1			2	3	3	24
相談	電話	7	3	7	5	8	1		4	3	2		40
	面接	1	1	4	3	2	1		2		1	1	16
	文書		1										1
モニタリング		1							2	2		3	8
チーム員会議			1		1		1		1		1		5
関係機関調整	2	2	8	10	5	1	1	4	3	6	4	4	50
研修会等			1			1	2	1					5
その他		1		1		1			1			3	7
合計	13	13	22	20	24	7	6	12	12	13	11	13	166

・チーム員会議の開催

訪問支援対象者ごとに、観察・評価内容を総合的に確認し、支援方針、支援内容、支援頻度等を検討するため、専門医も含めたチーム員会議を行った。

その他、随時窓口相談終了後、地域包括内で処遇検討等実施した。

医師も含めた会議開催日：6月27日、8月8日、10月10日、12月12日、
2月12日

・啓発活動・研修会等

○職員の資質向上のため、研修会に出席した。

神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター研修会 4月25日

「誰もひとりにさせない 横須賀市終活支援事業の挑戦」

認知症初期集中支援チーム員研修会 9月20日

厚木保健福祉事務所 認知症講演会 9月29日

「認知症の方への心理的な支援について」

神奈川県認知症疾患医療センター研修会 11月29日

「認知症と共に生きる ご本人・介護する人・医療者それぞれの立場から」

若年性認知症支援コーディネータ設置事業研修会 3月7日

「若年性認知症のある人への経済的支援」

○「愛川町認知症ケアパス」を窓口来所者に配布した。

○9月21日の世界アルツハイマーデーにちなみ、高齢介護課と一緒に役場ロビー及び福祉センターにコーナーを設け、認知症に関するパンフレット等を配架した。

○認知症サポーター養成講座を実施した。(再掲)

県立愛川高校1年生

愛川町役場職員

愛川町立愛川中原中学校 1 年生

○認知症介護者から開催希望の声が上がり「介護者のつどい」を開催した。

7 月 26 日 介護者 7 名 地域包括職員 2 名

12 月 26 日 介護者 7 名 福寿草の会 1 名 地域包括職員 2 名

8. あいかわ福祉サービス協会の運営（後述）

9. 愛川町ありんこ中津・高峰作業所の運営

(1) 障害者総合支援法による「就労継続支援事業（B 型）」の実施

就労することが困難な心身障がい者等が、地域社会の一員として共に働き生活する場所である、ありんこ作業所を本協議会が指定管理者（令和元年度～5 年度）として運営を行った。

〔基礎的事項〕（令和 6 年 3 月末現在）

- ・入 所 者 28 人
- ・年間入所者 346 人（月別入所人数の合計）
- ・所 員 工 賃 4,162,793 円（1 人平均 12,031 円／月）
- ・労働日数計 6,054 日（1 人平均 17.49 日／月）
- ・職 員 所長（管理者） 1 名
中津 主任指導員（2 名） 補助指導員（7 名）
高峰 主任指導員（2 名） 補助指導員（5 名）

◆就労継続支援 B 型事業 利用回数

（単位：回数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
中津作業所	316	332	341	324	313	325	343	330	326	306	299	310	3,865
高峰作業所	178	190	200	187	178	184	196	176	176	173	168	183	2,189
計	494	522	541	511	491	509	539	506	502	479	467	493	6,054
入所者数	30	30	29	29	29	29	29	29	28	28	28	28	346

(2) 就労継続支援事業の実施

〔就労に必要な技能習得訓練〕

軍手の洗濯、DVD 解体、ブラインド部品の検品、乾燥野菜の製造 他

〔人間関係の習得指導〕

体操指導 毎月 第 2 水曜日

趣味等教養習得事業 随時（太鼓）

新春のつどい

〔基礎的な生活習慣習得の指導〕

研修旅行（日帰り・八景島シーパラダイス） 9月26日

〔その他〕

遠足（5月9日）、ケース会議（年1回）、職員会議（毎月）

避難訓練（年4回）

10. 苦情解決第三者委員会の設置

利用者からの苦情に対して、弁護士、社会福祉士、本会評議員から選任する第三者委員を設置し、苦情解決に向け委員会を開催した。

開催日 8月24日 令和4年度に寄せられた苦情・意見件数 10件

安定充実した組織運営体制の整備に向けて

1. 計画及び組織体制・運営の強化に向けて

(1) 社会福祉協議会会員加入の促進

各行政区の役員等を通じて、社協会員の加入促進を行った。

(2) 理事会・評議員会・監事会等の定例開催

○理事会の開催（6回） ○評議員会の開催（3回）

○監事会の開催（決算監査5月1日）、（上期監査11月1日）

○正副会長会議（2月22日）

○年末たすけあい募金配分会議（12月5日）

○ボランティアセンター運営委員会、社会福祉基金管理委員会、ボランティア活動振興基金管理委員会（2月14日）

(3) 先進地社協視察研修

役職員の資質の向上ならびに社会福祉協議会の組織的な福祉活動を推進するため、視察研修を行った。

期 日 11月15日～16日

場 所 社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会（長野県）

役職員9名参加

(4) 情報化推進事業の継続

広報誌、ホームページで財務状況等を公表した。

(5) 町計画策定への参画

町計画策定の構成員として参画した。

- 愛川町障がい者計画
- 愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
- 愛川町生涯学習推進調整会議
- 愛川町男女共同参画行政推進会議

2. 安定的な財政運営に向けて

(1) 社協会員全世帯加入の促進

地域住民が参加した自主組織としての基盤の確立と自主財源の確保を図るため、会員加入の促進を図った。

	特別（口）	賛助（口）	一般（口）	合計（口）	金額（円）
行 政 区	19	74	6,350	6,443	3,351,000
行政区未加入者等	0	9	0	9	9,000
事 業 所	69	0	0	69	345,000
合 計	88	83	6,350	6,521	3,705,000

※会費額（一口） 特別会員 5,000 円 賛助会員 1,000 円 一般会員 500 円

※会員に対するサービスとして、わた菓子機、かき氷機、ポップコーン機等の貸出しを行った。

(2) 寄付金品の有効活用

ボランティアセンターに寄託された金品を、寄託者の趣旨に基づき配分した。

寄 付 金 81 件 3,987,927 円

(3) 基金及び事務資金の適切な管理・運用

・社会福祉基金の造成

民間社会福祉事業の振興と、地域福祉活動の推進を図ることを目的に設置している社会福祉基金の充実強化を図った。

積 立 金 3,212,468 円
基金保有額 106,621,168 円（令和 6 年 3 月末）

・ボランティア活動振興基金の造成

社会福祉意識の高揚とボランティア活動の積極的振興を図ることを目的に設置しているボランティア活動振興基金の充実強化を図った。

積 立 金 705,459 円
基金保有額 34,764,471 円（令和 6 年 3 月末）

(4)収益事業の運営

福祉センターのふれあいショップ希望の運営のほか、役場庁舎、中津公民館などに飲料の自動販売機を設置し、自主財源の確保に努めた。

3. 事務局体制の強化に向けて

(1)事務局体制の充実

事務局長	河野 敦志（専任）	主 幹	山野 篤（専任）
副 主 幹	野口 大介（専任）	副 主 幹	村上 康恵（専任）
主 査	井上 晴香（専任）	主任主事	山内 快水（専任）
主 事	奈良田 明（専任）	主 事	本田 奈美（専任）
主 事	藤井 健人（専任）	主 事 補	野口 達彦（専任）
地域包括センター長	皆川とく江（嘱託）	サービス協会Co	田中 智子（嘱託）
移 送 員	野口 典幸（非常勤）	介護支援専門員	志茂久美子（嘱託）
事 務 員	秋本 樹（非常勤）		

(2)専任職員スキルアップ支援

専任職員の資質向上、専門性を高めるため専門資格取得を支援した。

主任介護支援専門員資格取得

(3)備品機材等の整備

社協としての必要な備品、機材を整備した。

4. 団 体 事 務

福祉団体等を支援育成するため、次の団体事務局を担当し運営強化に努めた。

神奈川県共同募金会愛川町支会	愛川町ボランティア連絡協議会
愛川町手をつなぐ育成会	愛川町母子福祉会

あいかわ福祉サービス協会の運営

町民の参加と協力のもとに、家事援助・介助などを必要とする世帯の福祉向上を図り、町民の連帯と相互扶助を促進することを目的に、あいかわ福祉サービス協会の運営にあたった。

◆行政区別会員数

(単位：人)

行政区	会員区分		利 用 会 員 の 世 帯 区 分						
	協 力	利 用	高 齢	障がい	傷 病	母 子	父 子	出 産	その他
川 北	1	0	0	0	0	0	0	0	0
宮 本	0	1	1	0	0	0	0	0	0
原 臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両 向	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田 代	1	0	0	0	0	0	0	0	0
角 田	1	0	0	0	0	0	0	0	0
三 増	0	0	0	0	0	0	0	0	0
箕 輪	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 熊 坂	3	2	1	2	0	0	0	0	0
熊 坂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下谷八菅山	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二 井 坂	1	0	0	0	0	0	0	0	0
桜 台	0	1	1	1	0	0	0	0	0
半 縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
坂 本	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六 倉	0	2	2	2	0	0	0	0	0
大 塚	2	2	2	1	0	0	0	0	0
桜台団地	0	1	1	0	0	0	0	0	0
春 日 台	0	2	2	0	0	0	0	0	0
合 計	9	11	11	3	0	0	0	0	0

◆会員の年齢区分

(単位：人)

区 分		20 歳 未 満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	合 計
利用会員	男性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	女性	0	0	0	0	0	1	2	5	2	10
協力会員	男性	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	女性	0	0	0	2	0	2	4	0	0	8

◆利用頻度

(単位:人)

週 1 回	週 2 回	週 3 回	週 4 回	週 5 回	1～2 回／月	5～6 回／年	1～2 回／年	登録のみ	合計
4	2	0	0	0	3	1	1	0	11

◆利用延べ時間

(単位:時間)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
31	33	44	36	24	28	29	30	31	22	27	32	367

◆利用延べ人数

(単位:人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30	31	38	36	25	26	30	30	28	22	28	31	355

◆定期訪問延べ回数

(単位:回)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
8	8	8	7	3	2	7	5	6	6	5	6	71

◆家事援助・身体介護に関するサービス活動(利用)状況

(単位:回)

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
家事援助	掃 除	16	16	20	20	12	14	16	16	15	12	14	16	187
	洗 濯	0	0	0	1	0	3	2	0	1	0	0	0	7
	買 い 物	5	6	6	6	4	4	5	5	4	4	5	5	59
	調 理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	1	0	2	0	2	1	1	0	1	8
	小 計	21	22	26	28	16	23	23	23	21	17	19	22	261
身体介護	散 歩	2	4	8	7	6	4	7	8	7	6	6	7	72
	通 院	1	2	3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	10
	食 事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	排 泄	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	着 脱	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手	18	13	21	21	12	15	16	13	12	11	15	14	181
	入 浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保 育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	6	6	7	7	4	6	6	5	10	4	7	11	79
	小 計	27	25	39	36	22	26	29	26	32	21	28	33	344
合 計			48	47	65	64	38	49	52	49	53	38	47	55

理 事 会 議 決 事 項

理事会	議案番号	件名	議決日	結果	
第1回	議案第1号	令和4年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業報告の承認について	R5.5.12	承認	
	議案第2号	令和4年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会決算の承認について		〃	
	報告	監事会の監査結果報告		〃	
	報告	会長の職務執行状況について			
	議案第3号	理事・監事候補者の推薦について		推薦	
	議案第4号	評議員選任・解任委員会委員の選任について		同意	
	議案第5号	評議員選任・解任委員会の招集について		〃	
	議案第6号	評議員の辞任に伴う後任評議員候補者の推薦について		推薦	
第2回	議案第7号	第1回評議員会の招集について	R5.6.7	決定	
	議案第8号	非常勤職員賃金基準の一部改正について		同意	
第2回	議案第9号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会正副会長の選定について	R5.6.7	選定	
第3回	議案第10号	各種委員会委員の選任について	R5.7.7	同意	
	報告	社会福祉充実残額について			承認
	議案第11号	令和5年度第2回評議員会の招集について			決定
第4回	議案第12号	令和5年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の承認について	R5.12.13	承認	
	議案第13号	理事候補者の推薦について		推薦	
	議案第14号	評議員の辞任に伴う後任評議員候補者の推薦について		〃	
	議案第15号	評議員選任・解任委員会の招集について		決定	
	議案第16号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について			
	議案第17号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員賃金基準の一部改正について		同意	
	議案第18号	一般会員、賛助会員、特別会員入会申込みの承認について		承認	
	報告	令和5年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会上半期財務状況監査（4～9月）結果報告		承認	
報告	会長の職務の執行状況について				
第5回	議案第19号	令和5年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）について	R6.3.1	同意	
	議案第20号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員賃金基準の一部改正について		同意	
	議案第21号	一般会員、賛助会員、特別会員入会申込みの承認について		承認	
	議案第22号	令和6年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業計画について		同意	

	議案第 23 号	令和 6 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支予算について		同意
	議案第 24 号	評議員会の招集について		決定
第 6 回	議案第 25 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会虐待防止及び身体拘束等の適正化に関する指針の策定について	R6.3.21	同意
	議案第 26 号	愛川町地域包括支援センター運営規定の一部改正について		〃
	議案第 27 号	愛川町ありんこ中津作業所就労継続支援（B 型）事業運営規程の一部改正について		〃
	議案第 28 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の制定について		〃
	議案第 29 号	あいかわ福祉サービス協会事業実施要綱の一部改正について		同意
	議案第 30 号	あいかわ福祉サービス協会運営指針の一部改正について		〃
	議案第 31 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会住民参加型送迎サービス実施要綱の一部改正について		〃
	議案第 32 号	苦情解決第三者委員会委員の選任について		〃
	議案第 33 号	令和 6 年度資金の預入れ先について		〃
	議案第 34 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会緊急援護資金償還金の不納欠損処理の承認について		承認

その他業務執行に関する協議事項・報告事項

理 事 会	件 名
第 1 回	令和 5 年度ボランティア育成計画について 令和 5 年度ふれあい広場について 今後の日程について
第 2 回	今後の予定について
第 3 回	理事の役割分担について 理事会議長等選出の申し合わせについて 役員視察研修について 今後の主な行事予定
第 4 回	令和 4 年度中に寄せられた苦情について 令和 6 年福祉団体合同新年賀詞交歓会について 福祉講演会、ボランティアのつどいについて 配布資料について ○法人後見事業の実施状況について ○共同募金運動について ○各事業所の運営状況について ア．地域包括支援センターの運営状況について イ．就労継続支援 B 型事業の運営状況について
第 5 回	ボランティアセンター運営委員会、社会福祉基金管理委員会、ボランティア活動振興基金管理委員会の審議結果について 年間事業予定について 今後の予定について

第 6 回	法人後見事業の受任状況について 就労継続支援B型事業の運営状況について 地域包括支援センターの運営状況について その他
-------	--

評 議 員 会 議 決 事 項

評議員会	議案番号	件 名	議決日	結果
第 1 回	議案第 1 号 議案第 2 号 報 告 議案第 3 号 議案第 4 号	令和 4 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業報告の承認について 令和 4 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会決算の承認について 監事会の監査結果報告 任期満了に伴う理事の選任について 任期満了に伴う監事の選任について	R5.6.1	承認 〃 選任 〃
第 2 回	議案第 5 号 議案第 6 号	理事の辞任に伴う後任の選任について 令和 5 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第 1 号）の承認について	R5.12.13	選任 承認
第 3 回	議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号	理令和 5 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第 2 号）の承認について 令和 6 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業計画について 令和 6 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支予算について	R6.3.21	承認 〃 〃

その他の協議事項・報告事項

評議員会	件 名
第 1 回	令和 4 年度社会福祉法人神奈川県共同募金会愛川町支会事業報告並びに決算報告について
第 2 回	会員加入結果について 共同募金運動について ア. 赤い羽根共同募金の状況について イ. 年末たすけあい募金の状況について 令和 6 年福祉団体合同新年賀詞交歓会について 福祉講演会、ボランティアのつどいについて
第 3 回	令和 6 年度社会福祉法人神奈川県共同募金会愛川町支会事業計画並びに資金収支予算について 社協の年間事業日程について 令和 6 年度社会福祉協議会会費納入のお願いについて その他

役員に関する事項

(敬称略)

年月日	摘 要
R5. 6. 1	令和 5 年 6 月 1 日付で任期満了となり、次の方が就任した。 (理事) 古座野茂夫 小中原守彦 田村 直治 小島 重夫 井上 桂 林 政信 阿部 隆之 小林 弘 篠崎 美和 中村 美好 石井 康弘 後藤 昭弘 (監事) 大野 茂 村中 修 深沢 修 正副会長に次の方が就任した。 (会長) (副会長) (副会長) 石井 康弘 古座野茂夫 小島 重夫
R5. 12. 13	役職の異動による退任に伴い、次の方が就任した。 (理事) 阿部 隆之 退任 後任に 岸上 敦子

評議員に関する事項

(敬称略)

年月日	摘 要
R5. 6. 1	役職の異動に伴い、次の方が就任した。 (評議員) 榮利 隆一 吉邑 高志 田島 恵一 佐藤 隆男 中丸 隆 薄 岩夫 鈴木 敏男 平田 英世 戸田 政秀 栗山登喜雄 落合 善宏 山内 潔 久野 了 中山 卓也
R6. 1. 15	役職の異動に伴い、次の方が就任した。 (評議員) 熊坂 和子

評議員選任・解任委員会議決事項

選任・解任委員会	件 名	結果
R5. 5. 25	評議員の選任について	同意
R6. 1. 15	評議員の選任について	同意

